

劇団ライフゆう「ライオンキング」

ライフゆうNEWS

ライフゆうの日中活動は、その時期や気候に合わせて日直で内容を考えます。メンバーさんの平均年齢は36歳です。この平均年齢に近い私は、「もし私がメンバーさんだったら、日々の活動とは別に何か達成感が得られるような継続した活動もしてみたい」と思っていました。劇団四季のライオンキングは、たくさんの動物が登場し、そのスケールの大きさ、ストーリーのシンプルさが魅力です。これならメンバーさんも演じることができるのでないかと思いました。約1年前から背景作りや振付の練習、マイク練習、衣装作り、音楽制作、照明制作を進めてきました。本番は大変芸術的でハイレベルなミュージカルとなり、ご家族がとても喜んでくださいました。この企画によってメンバーさんの生き生きとした姿を見ることができ、メンバーさんもスタッフも一丸となって、ミュージカルを成功させることの達成感を味わうことができました。

ライフゆう看護:江川美奈



ライフゆうのクリスマス会

ライフゆうNEWS

毎年恒例12月のイベント、クリスマス会ですが、今年は前の日にライフゆう版ライオンキングの公演があり、連日のお祭り騒ぎとなりました。この日のパーティーは、会場だけでなく参加する皆さんもクリスマス仕様で大盛りあがり。スペシャルランチ、デザートビュッフェ、サンタからのプレゼントなどもありました。好きなデザートが選べるワクワク感や、何が入っているかわからぬプレゼントをあける時のドキドキ感でメンバーの皆さんのが笑い声や笑顔に溢れた会でした。又、この日のために準備・企画したスタッフにも幸せなひと時だったと思います。私たちは、メンバーさん全員が体調不良なく12月のメイン行事に元気で参加できることに、ほっと胸をなでおろしました。これからも『ライフゆう』の健康を支えます。

ライフゆう医局:H&K



年末年始の風景

ライフゆうNEWS

「今年はどんな年越しにしましょうか」。ライフゆうが開所してから大切にしていることは、メンバーさんが「地域の中でふつうに暮らすことです。メンバーさんと相談すると、やはり大晦日は皆で紅白歌合戦を観ることになりました。普段は自室で個別に観ているテレビもこの日は特別。フロアに大きなテレビを出して皆で観ることに。4Fのメンバーさんも3Fに集まり、皆で夕食の年越しそばを食べながら、食後は床暖房をつけてゴロゴロしながら過ごしました。紅白が終わると、ゆく年くる年でカウントダウン。ウトウトしながらも、ほとんどのメンバーさんが一生懸命起きていました。新年と共に夜が明けたら、スタッフお手製の「ライフゆう神社」でお参りをして初富士を見にお散歩へ。三が日はこたつを囲んで箱根駅伝の応援。天気が良いので外で廻揚げも。日本的な「ふつうのお正月」、暖かなひと時を皆で過ごしました。

ライフゆう看護主任:田中冴

